

令和4年1月28日

庄内町長 富樫 透 殿

庄内町保健医療福祉推進委員会

委員長 水尾 良孝

答 申 書

令和3年11月25日付、諮問第4号で諮問がありました下記計画策定について、庄内町保健医療福祉推進委員会条例第2条の規定に基づき、下記のとおり答申いたします。

記

1 委員会の開催状況

令和3年 7月20日（火） 第1回保健医療福祉推進委員会

令和3年11月25日（木） 第2回保健医療福祉推進委員会

令和4年 1月21日（金） 第3回保健医療福祉推進委員会

2 審議した答申事項

第3期庄内町地域福祉計画の策定について

3 委員名簿

菅原源也、齋藤学、相田健治、遠田三一、秋庭道雄、菅原みつ子、庄司武晴、奥山賢一、鎌田剛、水尾良孝、成澤かほる、鈴木愛、工藤むつ子、高橋大輔

4 審議の結果

計画の策定について審議した結果、原案について妥当なものと認めます。

また、審議を通じ委員より出された意見を当委員会の全体意見として、下記のとおりまとめました。

(1) 地域福祉を推進していくためには、地域住民が自らの地域について主体的に考え、地域活動に積極的に参加していくことが不可欠です。

令和4年度からの町づくりセンターへの移行を、新たな参画と協働による出発点と捉え、地域による支え合いの体制づくりと担い手養成のための支援制度の充実、まちづくり組織・団体との連携強化に努めていただきたい。

- (2) 本計画の基本理念に副題として加えた「地域力を強化し、安心して暮らせるまち」の実現のためには、地域課題の把握と分析、解決するための体制づくりが重要である。

そのため、地域住民や団体等からの意見反映と情報共有の仕組み作り、積極的な情報発信に努められたい。

- (3) 町全体で福祉を考える上で、地域の企業・事業所に対する働きかけも重要である。特に災害時の助け合いや障がい者雇用の呼びかけ等、積極的な情報共有と連携体制づくりに努められたい。